

# 巻頭言



岩見沢歯科医師会会長 鍵谷 隆一

「岩歯だより」は、会員相互の理解を深める雑誌として、その歴史は長く、また、久々に発刊されると聞き大変喜ばしく、また、多くの先生方が期待しているのではないかと思います。

今、歯科界は激動の時代を迎え、将来「岩歯だより」を見た後輩たちが、「あの頃は大変だったね」と言えるような時が来ることを願っています。

今や、昔の「岩歯だより」にあるようなおおらかな時代は終わり、一人一人が「歯科医院経営」を考えながら歯科医療しなければならない時代になりました。

岩見沢歯科医師会も法人改革により、新法人の認可を受けるべく、準備を進めており、平成24年4月からは、新しい定款のもとで「一般社団法人 岩見沢歯科医師会」としてスタートします。

これからは、20年度会計基準のもと、定款に基づいた厳格な「ガバナンス」と「コンプライアンス」が求められ、また、法人として我々の持っている財産を共益のために供する事業を行っていかねばなりません。

このような厳格な基準が設けられていますが、本質的には、今まで通りの事業を展開することになります。

そして、一番大切なことは、厳しい時代になっても、会員同士の絆が最も大切であり、このことを最優先に考えていけば、会は安泰だと思います。そのような意味で、野球大会や、会員相互の懇親会、各部の委員会を通して、会員同士の絆が深まることを願っていますし、「岩歯だより」もお互いをより深く知るための大事な雑誌として、ご愛読いただければ幸いです。